広報
さめがわ

昭和51年
11月号
No. 275
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



冷害対策は国も県も村も力をあわせて……

阿武隈山系地域の冷害は昭和9年以来の激甚災害とされ、わが村でも国や県にいち早く実情調査を要請していたところ、10月8日には参議院の農林水産委員の調査団が現地を訪れ、熱心な調査が行われました。

この調査団は団長鈴木省吾（自民）神沢浄（社会）塚田大願（共産）藤原房雄（公明）喜屋武真栄（二院）の5氏に野口忠夫（社会）氏が参加され、石田村長の案内で青生野、赤坂東野の高標高地帯の被害状況を調査のうえ公民館で関係町村長の陳情を聴取されました

このあと衆議院農林水産委員長湊徹郎氏が青生野渡瀬方部の被害を視察され、自民党県議団の実情調査も相次いで実施されました。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 11月20.21.22日 第29回鮫川村文化祭
- ⊙ 秋季火災予防運動 11月26日～12月2日
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（11月1日現在）

人口	5,900	(－3)
男	2,976	(－3)
女	2,924	(0)
世帯	1,161	(－3)

参議員の冷害調査





参議院の冷害調査団が村に来たのは今年が初めてのこと。部落の人たちも大勢出て国会議員の先生方に実情を訴えました。

写真は世々麦地内で「今年は昭和28年の凶作よりもひどい凶作です」と話している石塚ハルさん。

中核林業振興地域育成特別対策事業の指定

この事業は、将来にわたり林業を振興する地域を指定し、地域発展の中心的な役割をもつ、林業団地を育成することを目的としています。

県では、奥久慈林業地帯である、東白川地方四町村を、一つのブロックとして、今年度から指定し、昭和五二年度からの事業実施を目標に、現在整備計画を策定中です。

事業実施の順序

一、事業の指定を受け、各町村で総合施業団地を設定する。

二、設定された総合施業団地内に団地共同森林施業計画を樹立する。

三、樹立された施業計画に従って毎年共同事業を実施することにより次のような助成優遇措置が受けられる。

一、造林補助金が現行の四〇%から六〇%に増加される。

二、下刈、雪起し、除伐、保育間伐が補助の対象になる。

三、造林等に必要な作業道を作る場合、補助の対象になる。

四、林道を開設する場合は、補助事業として優先的に採択される

五、治山事業が優先的に採択になる。

六、公庫資金、林業経営資金の優先的な借入ができるようになる

七、その他税制上の優遇措置があります。

◎林家カードの作成

計画のための資料として、1ha以上の山林所有者を対象に「林家カード」を作りますので、カードが配布された際は、内容漏れなく記入下さるようお願いします。

納税案内

今月の納税

固定資産税　第三期

納期限　11月25日

父の汗　母の工夫で

明るい納税

おはなのおみ（19）

今年の冷害は八月中稲の出穂開花期に気温が異常に低下した時点で早くも大被害が予想され、九月の残暑も期待されず、ついに高標高地帯では青立ちのま・収穫期をむかえるという惨状となり、痛恨の至りであります。

村の財政課が拠点を選んで坪刈りを行った玄米収量は対前年の重量比で三九、四六、四八という数字が出ており、しかも品質は青米死米などの不熟粒が多く、実収高の激減は決定的となりました。

この深刻な事態に直面して、われわれは現実を直視するとともにこれに対応する措置を適確に進めなければなりません。

かねて要望してきた天災融資法の発動、激甚災害法による指定は一一月中に行われることが予想され、自作農維持資金枠の増加も見込める状況にありますから、既存借入金の条件緩和とあわせて資金対策は先づ一応の目途が立つたものと見ております。

大きな期待をかけている農業共済金は、正当な評価と早期支払いを強く要望しているところで、このことについては尚今後の努力に待つものがあるように思います。

政府米の予約概算金の返納は、集荷業者の代位弁済制や激甚被災者についての利子の減免が考慮されております。

規格外玄米の買入れについては食糧として配給可能なものと、主食として不適なものとにわけて、それぞれ対策が講じられる見込みであります。

自家用飯米の確保はもっとも重要な課題ですが、配給を受けられることは当然として、延納の措置が必要であります。

次に所得対策として賃金収入の増加を図るため救農土木事業を是非実施しなければなりません。

村では既発注分の事業については残工事について、今後対策として実施する事業については事業毎に被災農家を雇用することを条件づけて発注することにしました。

村内で行われる国・県の建設事業、公団事業も同じ趣旨で行われることになっているので、被災者の方の就労の機会は相当量増大されます。

また負担軽減対策としての課税の減免についても、ただいま条例立案の過程にあります。

この際、被災農家の皆様には国、県始め村の施策を十分活用されて、災害克服の途に進まれるよう切にお願いします。

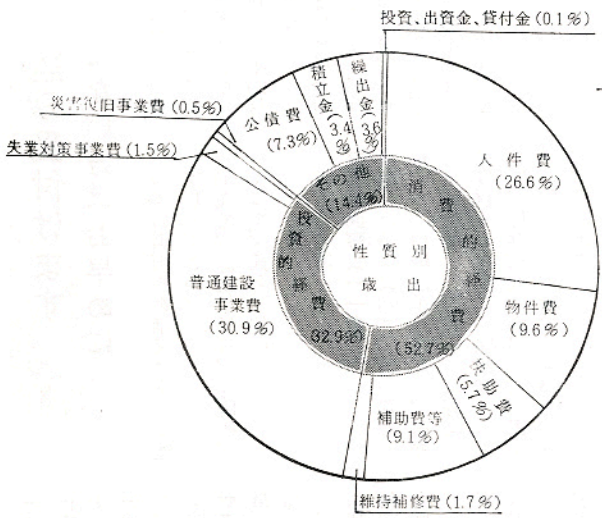
冷害対策事業ここに始動す

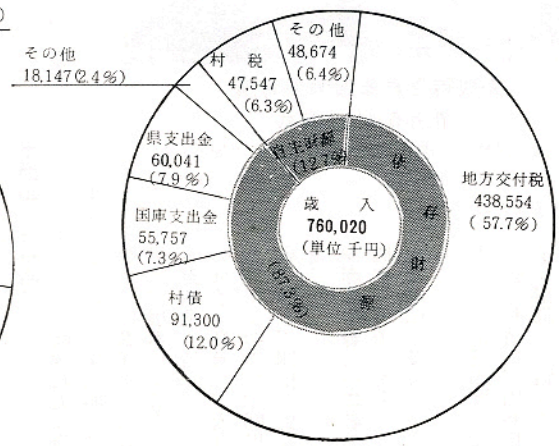
村長　石田卯子八

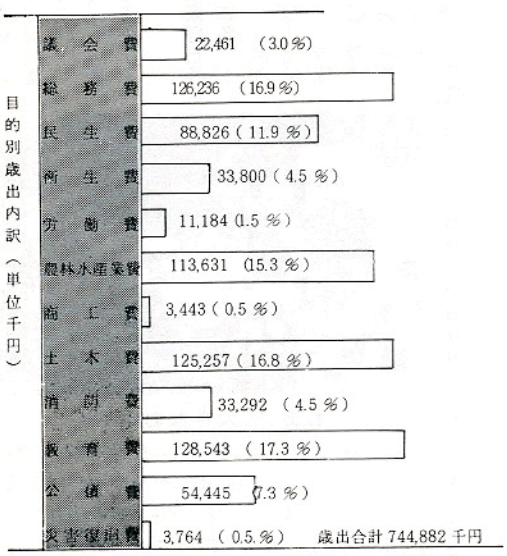
再生産対策としての種籾については、本村農協が早くから手をうったので予定数量の確保は期待できるものと思いますが、激甚地帯の種籾代について県が三分の一だけの助成を予定しているようなので、更に助成率のアップを要請しております。

昭和50年度決算・一般会計７億4,488万円

昭和５０年度鮫川村の一般会計決算は、９月の定例村議会で認定されましたが、そのあらましは次のとおりです。







秋の宮中園遊会にご招待
県内で只一人光栄の石田村長

天皇皇后両陛下御催しの秋の宮中園遊会は、一〇月二九日赤坂御苑で行われましたが、このたびは福島県内で只一人石田卯子八鮫川村長夫妻が光栄ある御召しを受けられました。

今年は例年より招待者の数が少く、一、七〇〇人ということですが、全国の町村数二、六一三町村長の中から一五人が選ばれたわけで、石田村長は「これも村民皆様のおかげです」と感激して上京しました。

当日はめずらしい快晴で、広い赤坂御苑は秋色に映え、大輪の黄菊白菊が咲きほこり、古い●武蔵野の原生林をしのばせる木立のみどりも深く、都内とは思えぬ静寂な環境の中に雅楽が流れ、両陛下はお元気に玉砂利の歩道に並んだ招待者の前をお通りになり、お言葉をおかけになりました。

次いで皇太子御夫妻、皇族の方方もこれに続かれ、三木首相夫妻も来られて、しばらくの時間を招待者と共にすごされたということです。

おめでた　十月

上耕地　近藤和代　父近藤昌文
土路部　関根美智枝　父関根英也
巌平　藤元敦郎　父藤元健次郎
余所内　関根幸恵　父関根政信
内ケ竜　佐川一男　父佐川伸一
落合　我妻誠　父我妻光男

おくやみ

十月　世帯主
水口　関根敦81才　関根仁
名下　須藤久良39才　須藤栄恭
新宿　小松テルノ75才　小松義照
真坂　矢吹テウ82才　矢吹茂春

戸じまり用心！　火の用心！

㊥のこわさ、忘れてならぬ後始末
のせるな酒飲みさせるな火遊び。
しめたはず？　いやもういちど火の点検
まさか……と思っても、火は待たず。
つまらないタバコの投げすて火事のもと。

成人式の申込み受付けます
名簿にない方はお早めに

第二九回鮫川村成人式は昭和五二年一月一五日（成人の日）に行います。今回の成人者は昭和三一年四月二日から昭和三二年四月一日までに生れた方です。

つぎの成人者名簿は世帯総合台帳から調査したものですが、名簿に載っていなくて出席を希望される方はつぎにより申込みをして下さい。この申込みを忘れますと成人式に出席できなくなりますのでご注意下さい。

㈠申込受付期限
昭和五一年一二月一五日

㈡申込先
鮫川村公民館（電話四二番）

㈢申込方法
つぎの事項を電話又は文書で連絡して下さい。
①氏名、②生年月日、③住所、④世帯主氏名、住所

成人者名簿

▽赤坂西野（一一名）
斉藤しげ子（良弥）、石井政夫（福一）、白坂法子（勝弥）、石井一三（重徳）、石井正一（好美）、高坂喜一（喜政）、佐藤健二（庄市）、佐藤初代（幸男）、吉田文子（稔）、舟木勝弥（重勝）、舟木秋子（忠男）

▽西山（一一名）
鈴木チヨ子（勲）、我妻邦夫（隆）、本郷圭子（正）、関根明（初男）、阿久津孝夫（春男）、根本稔（清之）、水野清典（清一）、本郷京子（良光）、大竹たみえ（卯吉）、関根啓（守）、関根一男（金二）

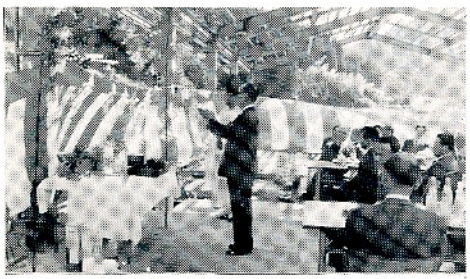
▽赤坂中野（一二名）
橋本三代子（次男）、大池義厚（基義）、鈴木三千代（秀安）、山本幸治（治三郎）、緑川弘（利清）、円井松子（富宣）、鈴木英光（光恵）、金沢広一（一）、水野一（正広）、岡部文夫（竹之助）、矢吹美智子（隆）、芳賀より子（勝美）

▽赤坂東野石井草（一二名）
篠木敏夫（敏郎）、関根久美子（初吉）、芳賀利美（己子寿）、小林銀義（キノ）、芳賀一郎（留一郎）、三瓶強（正司）、鈴木富美男（春雄）、佐藤博（千代治）、蛭田豊（晴夫）、羽田義孝（善孝）、宗田美之（忠夫）、佐藤文雄（光治）

▽富田（四名）
坂本富子（春光）、青戸徹夫（学男）、岡部義明（義恵）、松本一（重忠）

▽渡瀬（三名）
蛭田政信（貫男）、蛭田真理子（一）、蛭田和子（安雄）

▽青生野（四名）
吉成正（ウラ）、吉成正富（四郎）、瀬谷由美子（政義）、笹島春雄（政一）



完成待たれる渡瀬保育所
10月6日に上棟式

渡瀬保育所の建築工事は10月6日に上棟式が行われ、来年4月の開所を目ざして、急ピッチで工事が進められています。



わあ！大きなおいも

鮫川保育所では、子供たちに自然に親しんでもらおうと、1アール程の畑に野菜をつくりました。10月26日には待ちに待ったいも堀りの日。顔まで土にまみれ、堀り当てた大きなおいもを手に喜びあう子供たち。

成人の感想文募集

成人の方の感想文をつぎにより募集します。成人式資料に掲載しますので多数お寄せ下さるようお願いします。

㈠締切日　昭和51年12月15日
㈡提出先　鮫川村公民館
㈢市販四百字詰原稿用紙二枚以内
内容は自由。

ストーブやコンロの取扱にご注意

今年も暖房器具を使う季節となりました。ストーブやコンロの取扱には十分注意し、次のことを守って下さい。

◎コタツや、洗たく物の乾燥用には使わないこと。
◎指定された燃料（灯油等）以外は使用しないこと。
◎給油は、火を消してからすること。
◎お出かけの際には火を消し、完全に消えたかを確めましょう

消防署鮫川出張所

自然と人間生活の調和

メーンテーマ
自然と人間生活の調和

第29回鮫川村文化祭
ご案内

とき　11月20、21、22日

多数おさそいあわせのうえご覧下さい。

＝＝会場と催し物＝＝

⊙村公民館
村政写真展、絵画展、盆栽展
生花展

⊙鮫小体育館
21日午前10時
お母さんお嫁さんに感謝する会
21日午後2時
素人のど自慢大会
うたごえ広場
22日午前9時30分
村内小中学校学習発表会

⊙鮫小校舎
農業改良展、料理展、村内小中学校児童生徒作品展、村の文化財展、老人作品展、女子青年作品展、逓信館（協賛）

⊙保育所　幼児作品展
⊙畜産センター
自動車点検整備、車輌診断
⊙農協
農協展（日用品市）

自然と人間生活の調和